

田村市次世代育成支援行動計画

「未来を担う人づくり」
子どもたちがみんな元気 いきいきふるさと

後期行動計画

平成22年3月

田 村 市

田村市次世代育成支援行動計画の策定にあたって

ひとりの女性が生涯に生む子どもの数を示す国の合計特殊出生率は、平成 20 年度に平成 17 年度の 1.26 をやや上回る 1.37 となりましたものの、少子化傾向は依然として変わらず、生産年齢人口の減少による経済活動の不活発化や労働力の増加を前提とする現行社会保障制度への影響のほか、集団生活における切磋琢磨をとおして養われる子どもの社会性の低下など、わが国の将来に深刻な問題を投げかけており、国はもとより、地方公共団体、企業、地域などが一体となって、そこに住む人々が働きながら安心して子どもを生み、育てることのできる社会を実現することが求められております。



本市では、このような家庭や地域を取り巻く環境の急速な変化に対応するため、平成 18 年 3 月に策定した田村市次世代育成支援行動計画の前期計画に基づき、子育て支援センターや幼保一元化施設の整備をはじめ、3 歳児以上の幼稚園・保育所の保育料無料化、中学生まで拡充した医療費助成など、保護者の負担軽減による子育てしやすい環境づくりのほか、企業誘致による就労機会の創出や妊婦・新生児保健活動、特定不妊治療費助成などに取り組んでまいりました。

このほど、平成 22 年度から 5 年間で計画期間とする後期計画を策定いたしました。「～未来を担うひとづくり～ 子どもたちがみんな元気 いきいきふるさと」を基本理念とし、5 つの基本方針を定めるとともに、その具現化に必要な施策と事業計画を盛り込んだ本計画に基づき、引き続き次世代を担う子どもが健やかに生まれ育つ、明るく住みよいまちづくりに努めてまいりますので、今後ともご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見やご提案を賜りました策定委員会委員の皆様をはじめ、意識調査にご協力いただきました市民の皆様に心から感謝を申し上げます。

平成 22 年 3 月

田村市長 富 塚 宥 暁

目 次

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨	1
2 計画期間	1
3 計画の対象	2
4 計画策定の視点	2

第2章 子どもを取り巻く状況

1 人口・世帯数の推移	4
2 出生の状況	6
3 婚姻の状況	8
4 女性の就労の状況	10
5 子育て環境の状況	11
6 地域保健・医療の状況	14
7 経済的支援の状況	15
8 子育て家庭の状況（ニーズ調査結果より）	16

第3章 前期計画における事業実施状況

基本方針1 若者が地域で家庭を築ける条件整備	25
基本方針2 子育てを支える地域社会の形成	26
基本方針3 安心してできる子育ての推進	28
基本方針4 子育ての基本は家庭	29
基本方針5 就学前から中学生までの一貫した教育の振興	31
基本方針6 子どもの自主性・社会性の育成	32

第4章 計画の基本方向

1 子どもの人口の見通し	35
2 基本理念	36
3 計画の枠組み	37

第5章 基本方針に基づく施策・事業の展開

I 安心して住むことができるまちづくり	38
II 安心して生み育てることができるまちづくり	39
III 健康な子どもを育てることができるまちづくり	43
IV こころ豊かな子どもを育てることができるまちづくり	46
V 子育てを地域全体で支えるまちづくり	49

第6章 計画の推進にあたって

1 計画の推進体制	53
2 計画の進行管理	53

資 料

1 田村市次世代育成支援行動計画策定委員会設置要綱	54
2 田村市次世代育成支援行動計画策定委員会 委員名簿	55